

2013. 3. 18



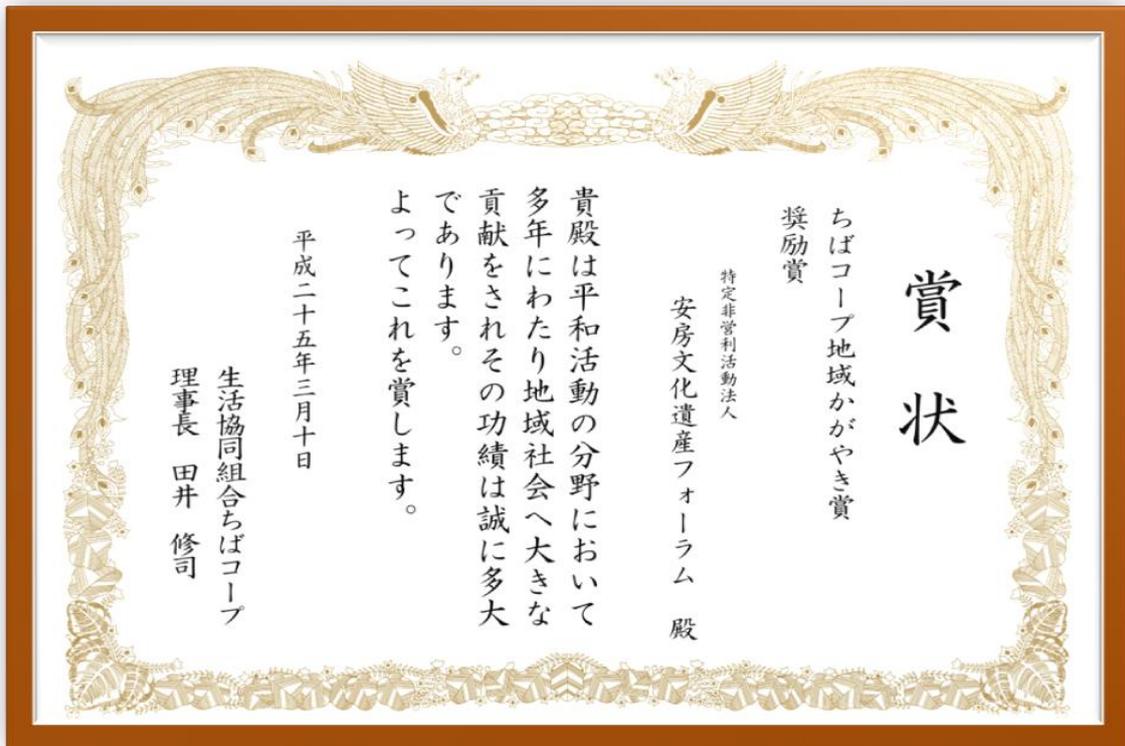
# NPOフォーラム・だより No.52

NPO法人安房文化遺産フォーラム  
代表 愛沢 伸雄

〒294-0036 千葉県館山市館山 95 小高記念館 TEL&FAX:0470-22-8271

Eメール awabunka@awa.or.jp 公式サイト <http://bunka-isan.awa.jp/> Blog 安房国再発見 <http://awabunka.wordpress.com/>

ちばコープより、平和部門の地域輝き賞奨励賞を受賞！



## 知恵袋講座

…13:30～小高記念館 参加費 200 円 NPO メンバーが語る楽しい茶話会です！

◎ 3月26日(火) 語り手：愛沢香苗さん 「沖縄平和ツアーの報告」

NPOフォーラムと年金者組合安房支部の共催で、3月11～12日に14名が沖縄平和ツアーを実施しました。沖縄陸軍病院南風原壕群第20号／首里第32群司令部壕／チビチリガマ／シムクガマ／掩体壕などの戦跡を見学しあらためて館山との関わりを学んだことや、普天間基地のオスプレー機や嘉手納基地の戦闘機などを遠望したことを報告します。なお、沖縄国際大学の吉浜忍教授／戦争遺跡保存全国ネットワークの村上有慶代表／読谷村の米軍楚辺通信所(通称:象のオリ)の軍用地貸借契約を拒否した元地主の知花昌一氏／普天間基地から返還を受けた土地に平和祈念の美術館を開館した佐喜真道夫氏から、重要な沖縄の近現代史を伺い懇親を深めたことなどを語り合いたいと思います。

◎ 4月23日(火) 語り手：福田百合さん 「被災地から学ぶ防災教育～旭市いいおか津波復興プロジェクト」

東日本大震災で千葉県旭市は津波により甚大な被害を受け、2年が経つ現在も仮設住宅で生活する人びとがいます。旭市いいおか津波復興プロジェクトでは、被災体験を記憶に残し、被災地だからこそ実施可能な防災教育プログラムを提供しています。

## ツアーガイド&講演のスケジュール

4月 7日(日)9:30～12:00 赤山地下壕ガイドサービス … 毎月第一日曜午前、個人や小グループ対象に実施

4月8～9日(月火) 中央大学法学部 9名＝座学・基本・かいた村・桜花・大房岬

4月27日(土)15:30～16:30 昭和女子大学附属高校1年生 240名＝座学

5月 2日(木)大原高校2年生 110名＝座学・基本

5月14日(火) 柏南交流会 45名＝座学・基本

5月18日(土)10:00～16:00 日本民家再生協会 25名＝座学・基本

新刊!

# 「実践事例にみる ひと・まちづくり ～グローバルコミュニティの時代～」

編集：瀬沼頼子/齋藤ゆか（ミネルバ出版）2,625 円

## 千葉県館山市の事例 ～ 文化財保存運動とピースツーリズムの実践

執筆：池田恵美子



### ● 「平和の文化」を育てる

いつもと違う視点で、足もとの地域を見つめ直してみると、今まで見えなかったまちの宝が見えてくる。しかし、価値がないと思われていたものを、実は価値ある文化財なのだということを知らしめ、後世に残すということはやさしいことではない。路傍の石の輝きを伝えるストーリーテラーこそ、まちづくりプロデューサーである。

国連では、ユネスコの提唱を受けて 2000 年を「平和の文化国際年」とし、さらに「持続可能な開発のための教育の 10 年」を展開している。「平和の文化」とは、争いや対立を創造的対話によって解決していこうとする価値観や行動様式のこと。ユネスコ平和の文化局長は、「軍需産業に対抗し得る平和産業としてピースツーリズムを育てていかななくてはならない」と提言した。ここでいうピースツーリズムとは、「平和の文化」に焦点を当てて地域資源を活用した持続可能な地域着地型観光といえる。

千葉県館山市では、戦争遺跡(戦跡)の調査研究と平和学習の授業実践からはじまった保存運動によって、「地域まるごと博物館(エコミュージアム)」とピースツーリズムのまちづくりがすすめられている。ガイドとして活躍するシニア層は、さしづめ「市民学芸員」であるといえよう。

### ● 戦争遺跡を保存する

幕末の黒船来航以来、東京湾入口の洲崎には砲台がおかれ、館山を中心とする房総半島と対岸の三浦半島は、50 年かけて「東京湾要塞」が構築されていった。館山は関東大震災で 99%壊滅したが、その7年後には館山湾を埋め立てて館山海軍航空隊が開かれ、艦上攻撃機のパイロット養成や海軍初の落下傘部隊の訓練など、大きな役割を果たしている。アジア太平洋戦争末期になると本土決戦が想定され、陸海空の特攻基地が次々とつくられた。地上戦を目前に控え終戦を迎えたが、戦艦ミズーリ号での降伏文書調印式の翌日には米占領軍が上陸し、館山は本土で唯一の直接軍政が敷かれた。しかし、4日間で解除となり、この重要な出来事は歴史上から消されてしまったのである。

戦後の長い間、放置されあるいは開発によって破壊されていた戦跡は、「戦後 50 年」の取り組みを機に注目され、市民向けの公民館講座やフィールドワークが繰り返され、保存を求める市民運動に発展していった。この活動はマスコミ報道や口コミによって知られ、全国からスタディツアーが来訪するようになり、市民ガイドが誕生しはじめた。観光地である館山に戦争のイメージはふさわしくないという声もあり、保存への道のりは困難を伴ったが、2004 年春、館山を代表する赤山地下壕が市によって整備、一般公開され、翌年には市指定文化財となった。戦争遺跡保存全国ネットワークのなかでも、先駆的な事例として評価されている。

館山には、近代史を理解するうえで欠くことのできない史跡と評価された戦跡が数多く残っている。民有地や国有地に放置されているが、地権者が亡くなるたびに相続税の問題で売却されたり、開発で破壊されるなど課題は山積しており、まだまだ保存運動は道半ばである。

### ● 海洋世界と交流する

ピースツーリズムの素材は、戦跡ばかりではない。海を通じて、アジア太平洋世界の人びとと交流し、共生してきた痕跡を見ることができる。その代表格は、1624 年に建立された「四面石塔」である。東西南北の各面に、印度梵字・中国篆字・和風漢字・朝鮮ハングルの文字で「南無阿弥陀仏」と刻まれている。なぜ江戸初期の館山にこのような国際的な碑が建てられたのか、謎の多い文化財である。秀吉の朝鮮侵略から家康の日朝国交回復という時代背景のなか、異国で亡くなった拉致被害者の供養と平和祈願をこめたのではないかと推察される。

また明治期には、館山湾で訓練していた水産教育の初代練習船「快鷹丸」が、遠洋実習の朝鮮海域で嵐に遭遇して難破し、4人の学生と教員が亡くなっている。残りの乗組員は現地の漁師に助けられ、後に供養のための遭難記念碑が建てられた。戦争が終わったとき、日本の支配から解放されたことを喜んだ韓国人たちは、この碑を倒し土中に埋めてしまった。戦後 30 年経った頃、心ある韓国人らによって碑は掘り起こされ、元の姿で再建された。遭難から百年目、館山の市民と東京水産大学卒業生らは供養のために訪韓し交流した際、韓国の漁師らは次のように語った。「ここ浦項は韓国最東端の岬であり、独島(竹島)や日本にも近いが、ここで漁をして生きていくには国境問題など関係なく、どこの国の船でも助け合わなければならない。だから、海に生きる男同士の友情の証として、この碑を守っていく」と。

善隣友好の理念が象徴されているのであれば、私たちは館山に残っている同時代の遭難記念碑にも目をとめ、平和学習の素材として語り継がなくてはならない。複雑な歴史を繰り返してきた両国が、互いをより理解し、交流を育んでいくためにも、重要な文化財である。

館山のピースツーリズムは、国内交流にとどまらず、国際交流を育んでいる。先人たちが培った「平和・交流・共生」の精神を学びながら、「新たな公共」としてグローバル・コミュニティ創生に取り組んでいる。

富崎地区活性化事業～小学校の利活用第一弾！



2013年4月21日（日）14：00 開演  
 会場：富崎小学校体育館 入場料無料



みやうち じゅん  
 宮内 淳

かつて私は、石原裕次郎さん主演のドラマ『太陽にほえる!』で、ボン刑事役をつとめた俳優です。テレビ番組で80ヶ国以上の国々をめぐり、秘境といわれる地球本来の姿を持つ土地を訪れました。そこに住む人々とのふれあいの中で、人間の豊かな生活とは何か、幸せな生活とは何かを考えるようになり、その答えを実践するための「地球友の会」をつくりました。一方、俳優をみざす若手を育成するために劇団を3つ主宰し、全国の学校などの巡回を年間700公演おこなっています。

ここで活躍する若者は、お金にかえられない新しい価値観をもって、芸術活動をしながら農漁業など自然との営みを通して自己実現していきたいと願っています。この自然豊かな富崎小学校を舞台に、新しいライフスタイルが発信できれば、どんなに素晴らしいことでしょうか。その試みとして、4月16日から21日まで体育館で稽古合宿をさせていただくことになりました。最終日には地元住民の皆様へのご挨拶代わりに、イリュージョンミュージカル『アラジンと魔法のランプ』を上演いたします。ご家族そろってご来場ください。

主催：劇団歌舞人 事務局：NPO法人安房文化遺産フォーラム 0470-22-8271 awabunka@awa.or.jp  
 後援：青木繁《海の幸》誕生の家と記念碑を保存する会 / 富崎地区コミュニティ委員会



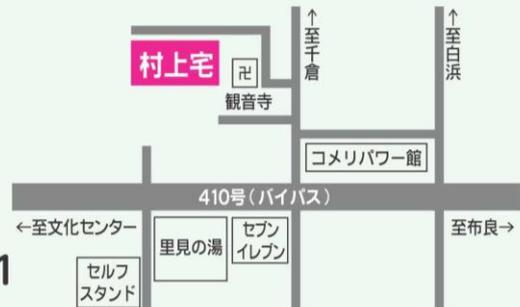
# お花見懇親会

主催 NPO法人安房文化遺産フォーラム

おかげさまで、当NPOは創立10周年を迎えることが出来ました。  
今回も前回に引き続き、満開の桜(多分)の下で、開催する事にしました。  
たくさんの模擬店を設けて、みんなで交流したいと思います。  
ふるってご参加ください。

- 日 時 2013年4月14日(日) 12:00～ ※雨天中止  
※お手伝いスタッフの方は10:00～
- 会 場 村上さん宅のお庭(NPO会員 館山市南条 ※地図参照)  
※車の方は道路脇や、お庭に駐車しないでください。  
誘導係がいますが、なるべくコメリパワー館に止めて、  
歩きでお願いします。

- 会 費 500円
- 連絡先 小沢:080-1379-3675  
関:090-9342-3638  
TEL & FAX :0470-22-8271



- 模擬店 やきそば・おでん・からあげ・  
バーベキュー・ところてん・杏仁豆腐 など
- 野 点 ベテランの亭主がおもてなしをします。

- ★会費は当日お支払いください。
- ★お手伝い出来る方は、事前に小沢か関まで。  
お手伝いの内容は、会場設営、受付、調理、販売、駐車案内などです。
- ★お友達、お子さん、お孫さんも大歓迎です。

## お願い

屋外で使用できる椅子やテーブル、ガスコンロ、バーベキューコンロ、テント等がありましたらお貸しください。小沢まで電話をくだされば取りにうかがいます。